



ロータリーは機会の扉を開く

高岡 北  
ロータリークラブ  
TAKAOKA-NORTH  
ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日 12:30～13:30  
例会場・ホテルニューオータニ高岡

創立・1980年5月19日  
認証・1980年6月12日  
国内創立順位・1489

会長 野尻 信晴  
幹事 吉谷 奈艶子  
会報委員長 魚住 晃一

## 第1813回 例会 5月24日(月)



◇点鐘 =省略=

◇ソング =省略=

◇ゲスト並びにビジターの紹介

ゲスト：一般社団法人富山ドリームス専務理事  
氷見高校 ハンドボール部総監督  
徳前 紀和 様

◇会長挨拶ならびに報告

皆さんこんにちは。大相撲、照ノ富士が優勝しましたね。下まで落ちて這い上がり、腐ることなく怪我を克服し、優勝決定戦を戦って優勝しました。大したものです。我が郷里の朝乃山はどうなる事やら……。照ノ富士みたいにまた勝ち上がり這い上がることができるか、冷たい目で温かい心で応援したいと思います。彼は日本の相撲界で大事な人物だと思っているのは私だけでしょうか。横綱になって欲しいものです。これで、少しの間マスク美人の女性ともお別れです。姿勢の良いのに感心します。関取より人気を取る女性です。毎日席取。でもマスクは取りません。

郷里といえは富山の八村選手もバスケットで活躍しています。富山グラウジーズも頑張っています。

今日は競技スポーツを地域の皆さんとともに、氷見高校ハンドボール部の総監督の徳前さんの卓話です。よろしくお願いします。

◇幹事報告

- 1) 本日例会終了後、Zoomにて理事会を開催します。
- 2) 配布：①会報 NO.37 (メール送信・Web 公開)

◇出席報告 出席者 13名 メイクアップ済 1名

名誉会員	会員数	本日の出席率	5/10 例会 修正出席率
1名	36名	63.64 %	66.67 %

◇本日のプログラム (担当：青少年奉仕)

卓話「競技スポーツを地域の皆さんとともに」～スポーツマンと地域企業のwin-win 目指して～

徳前 紀和 様

氷見高校で教員をしております。2018年にハンドボール部が全国優勝したことをきっかけに、地域に密着したスポーツチームのあり方、或いは地域の企業の皆様に支えていただくような新しいスタイルのトップチームのあり方ということで、28人の同士とともに一般社団法人を立ち上げ活動しております。2023年に日本ハンドボールチームのトップに加盟することを目指しております。

高岡北ロータリークラブの例会・スピーカービューとの共有画面



卒業後にハンドボール競技を続ける際、都会のほうがチームの数などが多いため、地元に戻る事が難しいという現状があります。

何とか活躍している選手を地元へ呼び戻す環境づくりが出来ないか考え、法人を立ち上げました。

法人を立ち上げる前にハンドボールがどれくらい市場価値があるのか調べました。全国的には非常にマイナースポーツですが、競技人口が10万人に迫る勢いです。例えば高校野球が14万人ぐらいなので、それなりに競技人口があるスポーツです。ところが売り込み方も下手、面白いのですが人気が無いという現状です。

富山はとても盛んなので、実験をしてみました。それが「富山ハンドボールデー2019」です。氷見市ふれあいスポーツセンターで1日、高岡市の竹平体育館で1日、合計2日間行い、約4,600人の観衆を集めることが出来ました。

最終的には、地元の企業の皆さんの会社で雇用していただき、仕事をしっかりしながらトップリーグでプレイすることができるチーム作りを目指しております。

こうすることによって、地元の子供たちに夢を与え、お年寄りには楽しみを与え、地元の企業はスポーツマンを雇用することができます。若者にとっては、大好きなふるさとに帰ってきて、ハンドボールをする場と仕事をする場があるということを目指して立ち上げました。

スポーツはこれまで、部活動を中心に競技者だけのものでしたが、応援する方々や、地元の企業の方、高齢者の方、子供の夢になるのではないかとというのが我々の考え方です。

ホームページもあります。これは2019の様子です。様々なことにチャレンジしています。



例えば、6月27日に、前スポーツ庁長官の鈴木大地さんをお招きし講演会を開催する準備を進めております。富山大学工学部のホールを使用します。会員の皆様に来ていただくことになっていきますので、皆様もご協力いただいでご参加下さい。鈴木さんの今後スポーツはどうあるべきかや、企業経営がどうなっていくかというお話が聞けます。

富山ドリームスの取り組みは4つあります。

- (1) ハンドボールイベント
- (2) 講演イベント
- (3) トップチーム作り
- (4) 地元企業と選手のマッチング

(1) については、富山ハンドボールデー2019「そろそろハンドの時代だろ」、2020は「インターハイを取り戻せ!」というテーマで開催しました。

2019は見る人々の為にいろいろな演出をしたり、ネット配信をしたり、スポンサーを募ったり、高岡市はダメでしたが、観客席にアルコールを入れたりしました。氷見市はアルコールを楽しみながら、観戦する事ができました。

富山ドリームスという氷見高校と向陵高校出身者による大学生の合同チームを作り、日本で強い大学を3つ、筑波大学、日本体育大学、明治大学を呼び、4チームでトーナメント戦をしました。

スター選手が富山出身でいたため、大変な集客となりました。

2020年は、コロナで全く全国大会がなかったので、「インターハイを取り戻せ!」というテーマの下に、打倒コロナで高校生の夢を実現させようという願いをこめて行いました。AIカメラの導入し、実証実験をしました。クラウドファンディングで寄付を募ったところ、143万円の寄付が集まりました。応援時に発声できないので、地元の企業と組んで応援鳴子づくり、工夫して応援しました。レフリーがスピーカーをつけて、場内に解説をしながらゲームをするという新しい試みをしました。

(2)は、①日本テレビ岩崎泰示氏「スポーツが社会でどう生きるか」(競技者向け)②Bリーグチェアマン島田慎二氏「スポーツはいかにビジネスになるか」「これからのスポーツ界」③田知本遥氏「競技者が社会でどう貢献できるか」④葦原一正氏「トップリーグの在り方」、以上です。

(3)(4)は大学4年生を中心に、現在3社と面談をさせていただいています。マッチングが出来れば、雇用していただく予定です。

現在は、実業団チームがほとんどで、広告宣伝費で運営費を捻出しています。バスケやサッカーのようにトップリーグがプロになるとリーグ自体がプロ化されています。ハンドボールがトップを作るには①選手は地域の雇用企業で雇用していただく②試合や練習のために時短勤務で協力いただく③運営会社富山ドリームスが事業収益を選手にバック④選手はセカンドキャリアを意識しながら社会に貢献出来るよう仕事しながら、市民の応援をいただき、子供たちに夢を与えてプレーする。

皆様には、5つのことをお願いします。

- ①富山ドリームスの活動や考え方を伝えていただきたい。
- ②選手の雇用企業として応援していただきたい。または、「キャリアターン」に参画を。
- ③スポンサー企業をお願いしたい。
- ④賛助法人会員、賛助個人会員をお願いしたい。
- ⑤活動を共にする仲間になっていただきたい。スポーツを支える。

## = 5月臨時理事会の報告 =

### 1. 今後の例会について

- ・5月定例理事会にて、新型コロナウイルスに関して、緊急事態宣言が、感染拡大地域に発令され、富山県でも判断基準がステージ2に引き上げになったため、5月中のすべての例会はZoomでの開催と決議される。
- ・6月の例会をどのような形で行うか
  - 6/7・・・会員卓話(前田央会員)→Zoom
  - 6/14・・・卓話 富山博子様→Zoom  
(出席委員会:島委員長)
  - 6/21・・・最終例会(親睦活動:上田委員長)  
→短縮例会※弁当配布
  - 6/28・・・例会取消